

# ビジョン中間評価と 最終目標の見直しについて

# 1. ビジョン中間評価について

実現方策	項目	策定時 (R1)	中間目標 (R6)	実績 (R6末時点)	達成の可否	今後の方針
<b>【安全な水道】</b>						
作成支援ツール等を活用した水安全計画策定	水安全計画策定率	3%	100%	91%	×	未策定の市町村へ訪問を行い支援を行う
クリプトスポリジウム対策等による浄水処理の適正化	クリプトスポリジウム対策実施率	69%	100%	82%	×	クリプト対策指針に基づく対策の必要性を周知徹底していく
<b>【強靱な水道】</b>						
浄水施設、配水池、基幹管路等の耐震化	耐震化計画の策定	85%	90%	100%	○	新しい国土強靱化中期目標の項目に合わせた耐震化目標への見直しが必要
	浄水施設の耐震化	29%	45%	63%	○	
	配水池の耐震化	67%	80%	83%	○	
	基幹管路の耐震適合化	39%	45%	44%	×	
BCP簡易様式等の活用や県外受援も考慮した「水道BCP」策定	BCP策定率	6%	100%	100%	○	
<b>【持続する水道】</b>						
②水道施設台帳の整備及びシステム化の実施	水道施設台帳整備率	15%	100%	100%	○	
③簡易支援ツール等を活用したアセットマネジメント導入	アセットマネジメント導入率 (施設更新計画策定率)	67%	80%	100%	○	

## 2. ビジョン最終目標の見直しについて

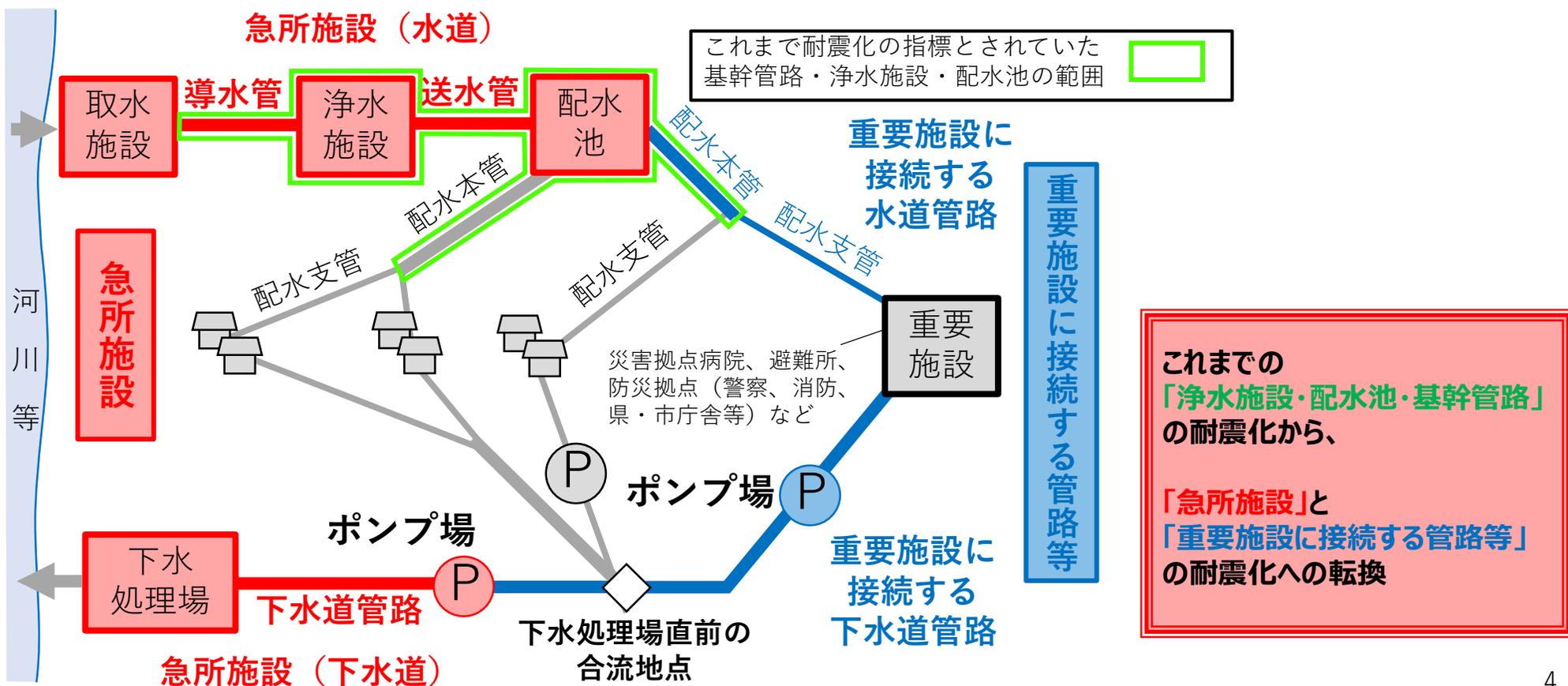
- ①国からの上下水道耐震化計画の策定依頼
  - ・能登半島地震を受け、上下水道一体で耐震化を推進する計画の策定依頼
  - ・簡易水道事業も含む全水道事業者で策定
  - ・目標の1つだった「耐震化計画の策定」が、これにより全市町村完了となる
  
- ②国土強靱化実施中期計画の目標値
  - ・①の考え方を反映し、従前の「基幹管路、浄水場、配水場の耐震化」から「急所施設、重要施設に接続する管路等の耐震化」に
  - ・簡易水道事業も対象となった
  - ・「重要施設に接続する管路等」の対象は下水道処理区域内のみ
  
- ③ビジョン最終目標の見直しの必要性
  - ・現在のビジョン数値目標の基幹管路の耐震適合率、浄水施設・配水池の耐震化率は上水道事業のみが対象（簡易水道事業は耐震化計画策定のみ）
  - ・①、②ともに簡易水道事業も対象となった

⇒**国土強靱化中期目標の項目に合わせた耐震化目標への見直しが必要  
（合わせて簡易水道事業についても数値目標に含める）**

## 上下水道耐震化計画の策定

- 能登半島地震では、浄水場や下水処理場及びそれらの施設に直結した管路等、  
**上下水道システムの急所施設の耐震化が未実施**であったこと等により、復旧が長期化
- 能登半島地震を受けて実施された上下水道施設の緊急点検では、  
**避難所等の重要施設に接続する上下水道が全て耐震化**されている施設は**全国で15%（高知県は9%）** ↑
- そのため、上下水道システムの急所施設や避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等について、  
上下水道一体で耐震化を推進する「**上下水道耐震化計画（R7～11）**」を、国からの依頼により**各市町村で策定**

（計画策定時に見直され、  
R6.3末で 高知県3.3%）

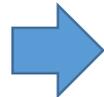


## 国土強靱化実施中期計画の目標値

第1次国土強靱化実施中期計画が令和7年6月に閣議決定  
水道施設の耐震化に関する目標値が、**上下水道耐震化計画における耐震化の考え方を反映**したものに

### これまでの国土強靱化目標

- 基幹管路のR7年度末の耐震適合率……54%  
(令和10年度末……60%)
- 浄水場のR7年度末の耐震化率……41%
- 配水場のR7年度末の耐震化率……70%

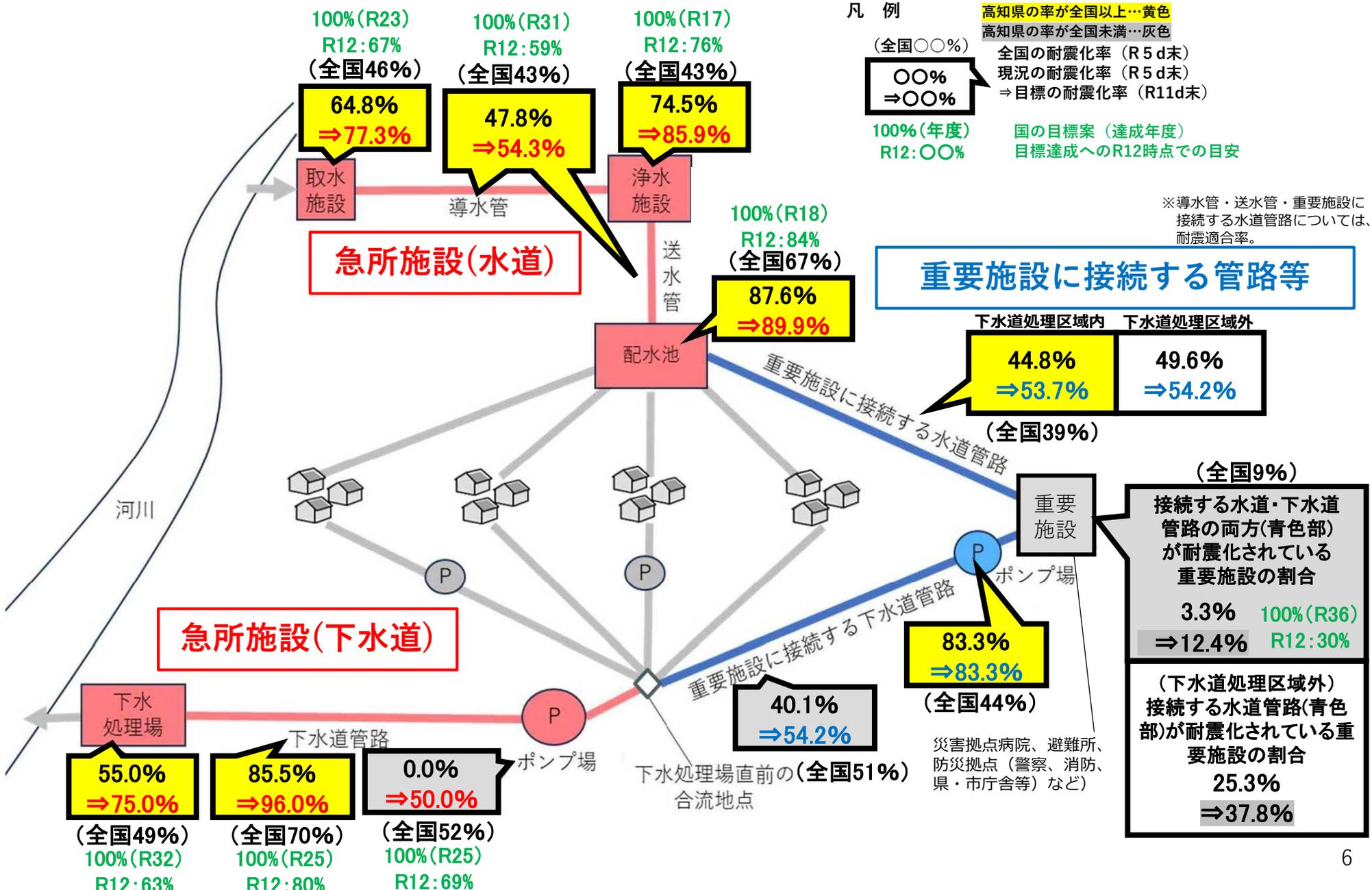


### 第1次国土強靱化実施中期計画の目標値

- 給水区域内かつ**下水道処理区域内**※における重要施設のうち接続する水道・下水道の管路等の両方が耐震化されている重要施設の割合  
9%【R5】→30%【R12】→100%【R36】
- 水道の急所施設である導水管・送水管の耐震化完了率  
43%【R5】→59%【R12】→100%【R31】
- 水道の急所施設である取水施設の耐震化完了率  
46%【R5】→67%【R12】→100%【R23】
- 水道の急所施設である浄水施設の耐震化完了率  
43%【R5】→76%【R12】→100%【R17】
- 水道の急所施設である配水池の耐震化完了率  
67%【R5】→84%【R12】→100%【R18】

※ビジョン目標値としては、下水道処理区域外も合わせた目標とする必要がある 5

# 高知県の各市町村の上下水道耐震化計画における現状と目標の耐震化率（県全体）



# ビジョン最終目標の設定（案）

①項目は**国土強靱化実施中期計画の水道施設の耐震化の項目**と合わせる  
 ただし、重要施設に接続する管路（国土強靱化では下水道区域内のみ）  
 については、**下水道処理区域の内外を合計した数値**を目標とする

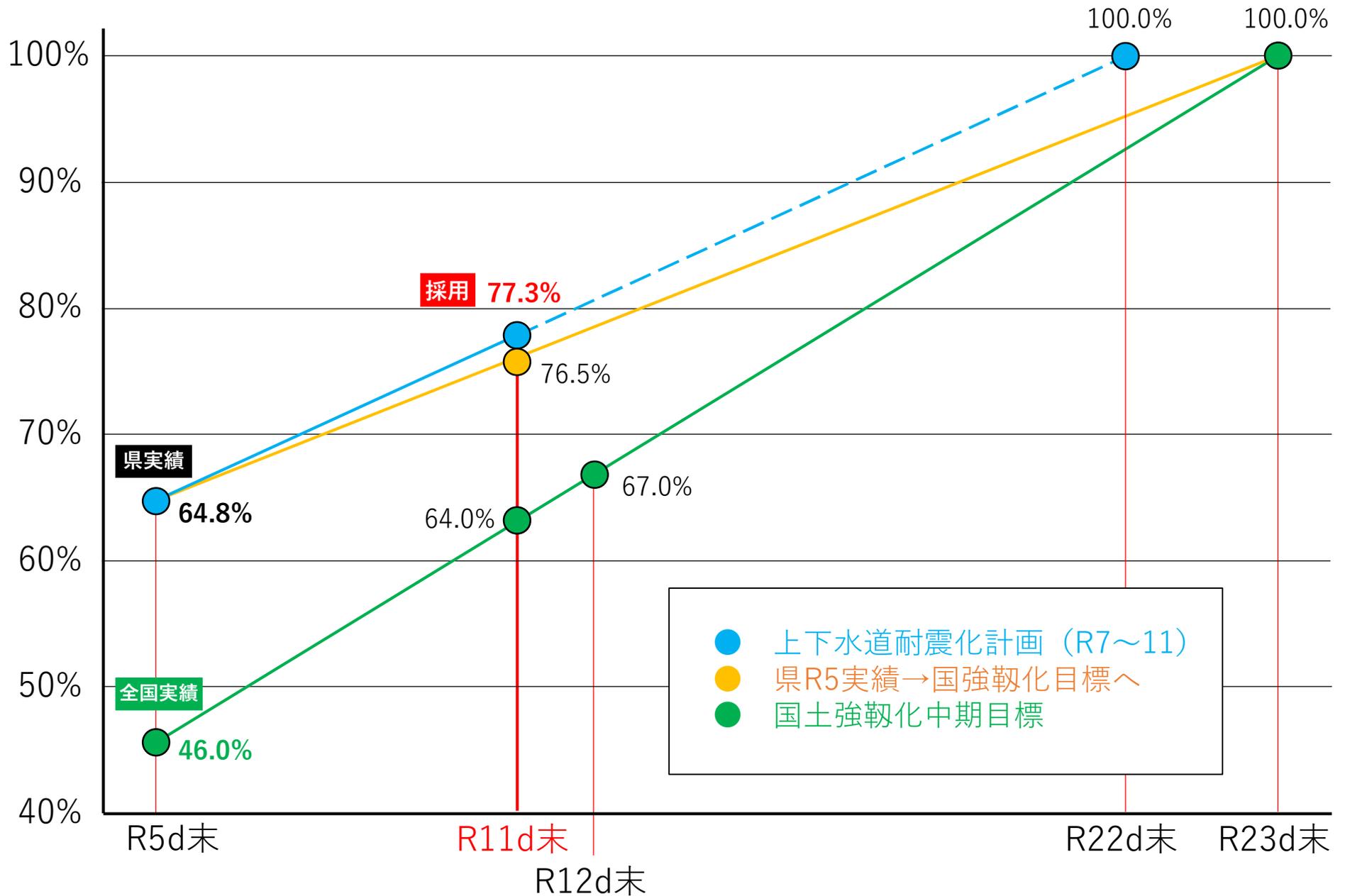
②ビジョン最終目標年度がR11であることから

- ・**上下水道耐震化計画（R7～11）の目標値**
- ・**県R5実績から国土強靱化目標の100%に向けたR11時点の推定値のいずれか高い方**をビジョン最終目標とする

## ビジョン最終目標案（赤字部分）

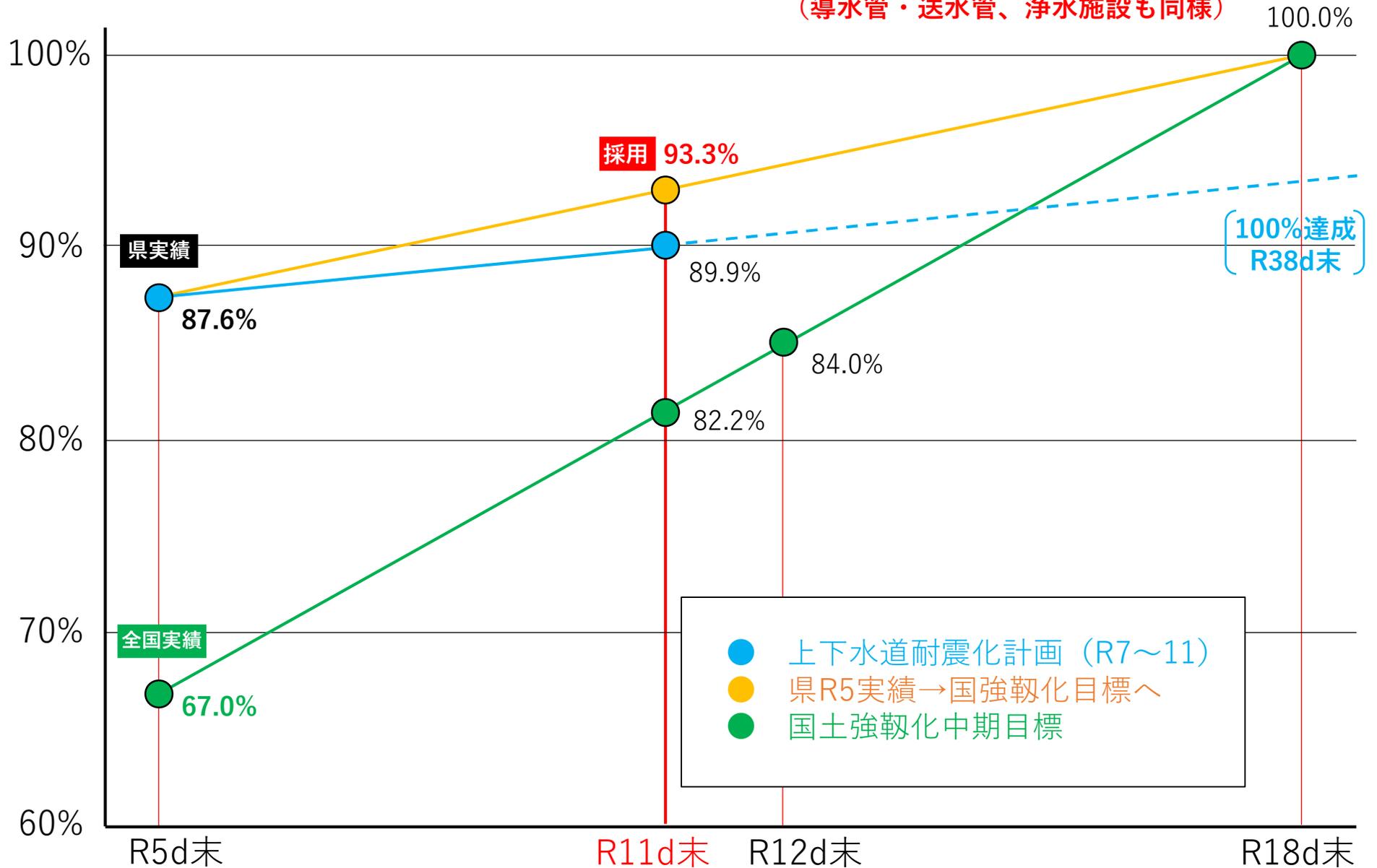
	県現況	国現況	上下水道耐震化計画	強靱化（県起点）	強靱化国目標	国土強靱化目標		耐震化計画のペースで100%達成
	R5d末	R5d末	R11d末	R11d末	R11d末	R12d末 中間目標	100%達成 目標年度	
取水施設	64.8%	46.0%	<b>77.3%</b>	76.5%	64.0%	67.0%	R23d末	R22d末
導水管・送水管	47.8%	43.0%	54.3%	<b>59.8%</b>	56.2%	59.0%	R31d末	R54d末
浄水施設	74.5%	43.0%	85.9%	<b>87.3%</b>	71.5%	76.0%	R17d末	R19d末
配水池	87.6%	67.0%	89.9%	<b>93.3%</b>	82.2%	84.0%	R18d末	R38d末
重要施設接続管路（内外計）	48.7%	—	54.1%	<b>58.6%</b>	—	—	R36d末	R62d末

# パターン① 高知県のR5実績が全国より高く目標達成も早い（例：取水施設）

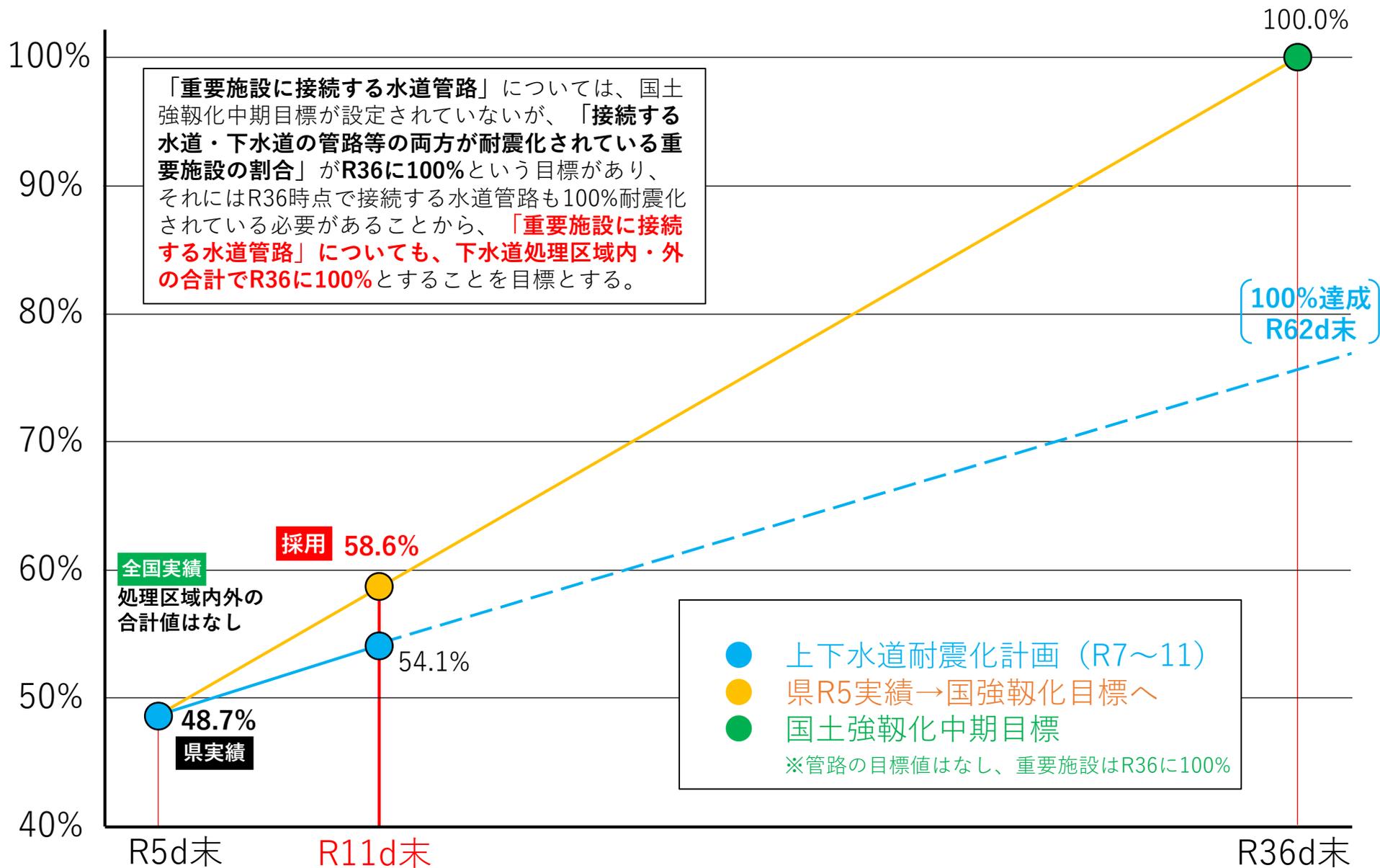


## パターン② 高知県のR5実績が全国より高いが目標達成が遅い（例：配水池）

（導水管・送水管、浄水施設も同様）



### パターン③ 重要施設に接続する水道管路（下水道処理区域内・外の合計）



## 今後の課題

### ① 急所施設の設定について

急所施設については将来的に全て耐震化する目標が示されているが、

- ・応急給水での対応を検討している中山間地域の小規模水道施設
  - ・津波浸水想定区域であり住民の内陸地域避難が検討されている区域の施設
- なども急所施設に設定する対象となっている

⇒急所施設の選定について、特段の事業がある施設は除外できないか、  
四国地整と本省で協議しており、その結果により急所施設の見直しをする可能性

### ② 重要施設に接続する管路等について

重要施設については市町村の地域防災計画等を元に各水道事業者が選定している

⇒追加や見直しにより、重要施設に接続する管路の延長が変動する可能性あり

⇒**上記①、②による対象施設の変更が発生した場合は、必要に応じ、  
推進委員会において、目標値の見直しを検討する**